

○タイトル『千葉観光課 6 粒すけ』

○登場人物

・田宮（20代） 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

・ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

・その他（外人達）

シーン1：観光課のオフィス

（オフィスの雑音、書類をめくる音）

田宮…（ため息）外国人観光客、どうしたら増えるんだろう…。

（ドアが開く音、ボブが入ってくる）

ボブ…田宮くん、元気ないね！どうしたの？

田宮…外国人観光客が少ないって、上からのプレッシャーがすごくて…。

ボブ…それなら、何か楽しいことを考えよう！
千葉の「粒すけ」ってブランド米、もっと外国人に食べてもらいたいっていう話があったよね？

田宮…うん、でもどうやって…？

ボブ…世界中で米は親しまれてるけど、「粒すけ」をもっと特別にする方法を考えよう！

田宮…（ひらめく）そうだ！いっそ、農業体験をさせて、収穫した「粒すけ」をおにぎりにして愛着を持ってもらうっていうのはどう？

ボブ…それは面白い！観光なのに農業体験、

外国人は驚くだろうね！

(シーン転換音楽)

シーン②：農場での体験ツアー

(外の音、風の音、鳥の鳴き声)

田宮：みなさん、今日は千葉のブランド米「粒すけ」の農業体験に参加していただきます！

観光客A(アメリカ人、元気よく)：これは初めてだ！楽しみ！

観光客B(フランス人、驚きつつ)：農業体験？
これが観光…？

ボブ：(笑顔で)そう、収穫して、自分たちでおにぎりを作るんだ！すごく楽しいよ！

観光客C(イギリス人、半信半疑で)：まあ、

やってみるか。

(シーン転換音楽)

シーン☺ 田植え体験

(田んぼの音、泥の音、笑い声)

田宮…(指導しながら) こうやって、一つ一つ
丁寧に植えていきます。

観光客…(笑いながら泥だらけ) これは意外
と楽しい!

観光客☹…(苦戦しながら) 難しいけど、やり
がいがあるね。

ボブ…(手伝いながら) そうだろ? 日本の農業
は、心のこもった作業なんだ!

(シーン転換音楽)

シーン▶：収穫とおにぎり作り

（収穫の音、米を洗う音、笑い声）

田宮：（おにぎりを握りながら）自分で収穫した米で作るおにぎり、特別な味がするはずです。

観光客♀：（おにぎりを握りながら）自分で作ったから、なんだか愛着が湧いてきた。

観光客♂：（興奮気味に）ああ、早く食べたい！

（全員が完成したおにぎりを手に取り、一口かじる）

観光客♀：（目を閉じて味わいながら）おお、

これは…！

観光客♂：（感動して）口の中で米が踊ってる

みたいだ！

観光客 ☺ (うっとり) うわあ、甘くてもちもちしてて、本当に美味しい！

田宮 (微笑みながら) これが「粒すけ」の力です。みなさん、どうですか？

観光客 ー (夢中で食べながら) 最高だよ！おかわりしたいくらいだ！

観光客 ☺ (笑顔で) これなら、「粒すけ」が世界中で愛されるのも納得だね。

ボブ .. そうだろ？これが千葉の魅力さ！

(シーン 転換音楽)

シーン ☺ 観光課のオフィス

(オフィスの音、書類をめくる音)

田宮…思った以上にうまくいったね。みんな
「粒すけ」に愛着を持つてくれたみたいだ。

ボブ…そうだね、やっぱり体験型の観光はい
いね。次は何をしようか？

田宮…(笑顔で) そうだな、次は…千葉の牛乳
を使ったチーズ作りとか？

ボブ…それも面白そうだ！よし、次のアイデ
アも楽しくいこう！

(エンディング音楽が流れ、シーンがフェー
ドアウト)

(終わり)